

# 堂谷津の里から

今年は雨が多く、堂谷津の池から勢いよく流れ出る水によって、田んぼにたっぷり水を湛えることができ、5月の連休には、カエルの鳴き声が響く中、無事、田植えを行うことができました。5月19日には、新型コロナウイルスの感染拡大防止を図るため、事業報告等について書面による決議を行い、その後、事業報告書を千葉市に提出しました。

この間、堂谷津の里では散策に訪れる人の姿が多く見られ、今後は、里山の再生とともに、里山の魅力を楽しんでもらうための取り組みについてもさらに進めていきたいと思っております。

## 【田んぼでは】



会員だけの田植えになりましたが、多くの方の参加により予定の日程より早く完了することができました。

## 【堂谷津の池では】



去年は、湧水が枯れ、池の底が露出していましたが、今年は水面の広がりを見ることができます。



田植えの後は、除草です。中耕除草機で、浅く耕し、コナギなどを小さいうちに土に埋め込み、また、稲の根に酸素を供給します。



7月にはヘイケボタルが舞う幻想的な光景が見られる池の奥は、去年の台風で無残な状態になっていました。

## 【散策路では】



ビオトープの木道から堂谷津の池へと通じる道の階段を改修しました。



専門家(アーボリスト)に依頼し、ツリークライミングにより、枝折れ、幹折れ、掛かり木を処理しました。

## 【山林では】



(左上) 倒木の伐採で、林冠ギャップができ、コナラの実生が見られ、保護しながら生育状況を観察しています。

(左手前、青い棒で囲んだ箇所)

(右上) イヌシデの森のアズマネザサなどを刈っています。

## 【堂谷津の里・百景②】



桑の実を狙っているのかな？

## 寄稿

### 田植えを通じて得たもの

冬から春にかけて谷当町に足を運び、伐採したコナラやクヌギを頂戴していましたが、この里山に何か還元できないものかということで入会させていただきました。

今年は、毎春の主人公となる田植えキッズたちが堂谷津の田んぼに来られないとのこと。ならばとばかりに、学校に通えず家の中でマグマを溜め続けた二人の娘を献上しました。計3日間参加させていただきましたが、田んぼの生き物に興味がある上の子、田植え自体が想像以上に楽しかった様子の子、帰り道では「来年もやりたい」宣言が飛び出していました。ともかく久々の屋外レジャーで心身ともにリフレッシュできたようです。

田植え体験のみならず、その近くに何があるのかを見て感じられる里山の環境は、やはり実際にここ来て、触れるという体験を経ないとその良さを伝えられないと感じました。子連れの手軽な自然体験としてはキャンプのようなアクティビティーもありますが、その自然環境の良さを存分に味わうには「里山に触れる」ことに勝るものはないでしょう。子供だけでなく、大人にとっても里山は体験を幾重にも感じ取れる場所であってほしい。

田んぼの体験は田植えだけでなく、夏には草取り、秋には収穫、冬には水を張った竹まいを楽しめる。五感で楽しもうと思えば、ヌルヌルした泥の感触、芳しい稲穂の香り、冬の田の寂寥感など、そこにいる人の数だけ楽しみ方がある。そんな引き出しの多いこの里山を、来る人にとって楽しさが詰まった場所であるようサポートしていくことが私のすべきことなのかと思っています。(S.S.)

### <情報コーナー>

6月2日の理事会で、代表理事に佐藤聡子さん、副代表理事に斎藤幸一さんが選出されました。会員の皆さんと力を合わせて里山の再生を目指し活動していきますので、よろしくお願いいたします。

### NPO 法人バランス 21

E-mail :yatosatoyama@gmail.com

URL :<https://balance21.jimdo.com/>

連絡先：千葉市若葉区谷当町 70

TEL & FAX:043-239-0645 (現地)